Panasonic

ネットワークカメラ 屋外設置タイプ

取扱説明書（基本編）

品番 **KX-HCM170**

Network Camera

このたびは、パナソニック「ネットワークカメラ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付 **上手に使って上手に節電**

■ 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■ 詳細に関しては、セットアップCD-ROM内の取扱説明書 (応用編) を参照してください。

はじめに

本書に使用しているマークについて

- ☞............ 参照いただくページを示します。
- おねがい .... 操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
- おしらせ .... 便利な使い方やアドバイスなどの関連知識を記載しています。

対応パソコンの仕様

ネットワークカメラを使用するには、パソコン (パーソナルコンピューター) のOS (オペレーションシステム) など、下記のものを用意する必要があります。

項目	概要
OS	Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98 / SE、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® Me、Microsoft® Windows NT® 4.0、Microsoft® Windows® XP
プロトコル	TCP/IP（HTTP, TCP, UDP, IP, DNS, ARP, ICMP）プロトコルがインストールされていること
インターフェース	10/100Mbps の Ethernet カードが内蔵されていること
ウェブブラウザ※1	Internet Explorer 5.0 以降 / Netscape Navigator ® 4.7 以降
無線LAN規格	IEEE802.11b

- Netscape Navigator のバージョン 6.X は、ウェブブラウザには、おすすめできません。画像の動きが止まり、ウェブブラウザからの命令を受け入れない場合があります。

※1　ネットワーク環境の詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/) を参照してください。

- **パソコンのCPU は、処理能力による性能低下を防ぐためにPentium II(300MHz)以上をおすすめします。**

【商標および登録商標】

- Netscape, Netscape Navigator は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernet は富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT および ActiveX は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	内容
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

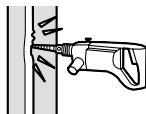
絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従い、安全・確実に行う

誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

- 配線工事は、電気工事士の方が行ってください。

設置・配線工事の際の壁への穴あけ、電源コードやケーブルの固定は、屋内配線・屋内配管を傷つけないようにする

漏電・感電・火災などの原因になります。

壁や天井に設置時は、ACアダプターを差し込んだあと、落下しないように対策を行う

ACアダプターが落下し、頭などにあたると、けがまたは死亡する原因になります。

- 工事は、電気工事士の方が行ってください。

⚠ 警告

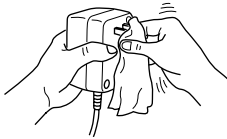
電源コードやケーブルを窓やドアなどにはさみ込まない

禁　止

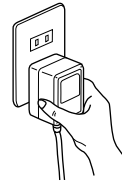
電源コードに傷がつくとショートによる感電・火災の原因になります。

電源コードやケーブルの接続時は、コネクターカバー、パテ、自己融着テープで防水処理を行う

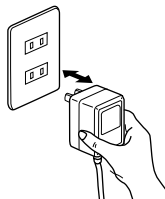
感電・火災の原因になります。

ACアダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

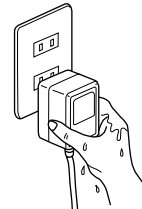
- ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ

感電の原因になります。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

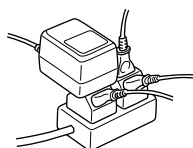
⚠ 警告

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

禁　止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

ACアダプターをぬらさない
（ACアダプターは防水構造ではありません。）

水ぬれ禁止

発火・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

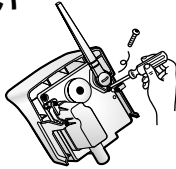
［ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない］

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

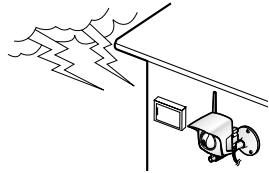
●コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

絶対に分解したり、修理・改造をしない

分解禁止

故障したり火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本機やACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

本機内部にクリップやピンなど金属物や異物を入れない

禁　止

感電・故障の原因になります。

落下させたり、強い衝撃を加えない

禁　止

けがや故障の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない

禁　止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない

（手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。）

禁　止

本機からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意　必ずお守りください

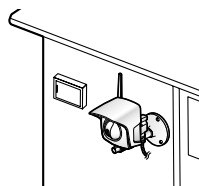
⚠ 注意

自分で設置工事および配線工事をしない

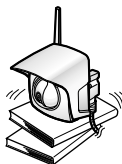
禁　止

設置に不備があると、火災・感電・事故の原因になることがあります。

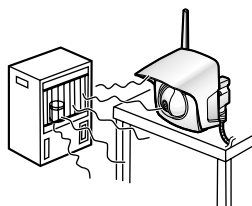
● 設置・配線工事は販売店にご依頼ください。

本機を壁や天井に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける

落下により、けがの原因になることがあります。

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない

禁　止

落下により、けがの原因になることがあります。

火気を近づけない

火気禁止

火災の原因になることがあります。

ケーブルは防水仕様になっていないので、水をかけたりしない

水ぬれ禁止

感電や故障の原因になることがあります。

ケーブルを曲げたり落としたり、強い衝撃を与えたりしない

禁　止

感電や故障・変形・破損の原因になることがあります。

⚠ 注意

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

感電・漏電の原因になることがあります。

ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加えない

禁　止

感電や損傷の原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

**パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。
スクリーンセーバーの使用をおすすめします。**

本機は、軒下など雨や風が直接あたらないところに設置してください。

推奨温度：－20℃～50℃
推奨湿度：　20％～90％
(ただし、結露なきこと)

レンズカバーにキズや汚れをつけないでください。

カメラのレンズカバーに汚れをつけたり、物を当てたり、強く押さえたりすると、きれいに撮影できなくなったり変形や故障の原因になります。

カメラのレンズカバーに、無理な力を掛けないでください。

故障の原因になります。

本機に磁石など磁気をもっている物を近づけないでください。

磁気の影響を受けて動作が不安定になります。

**直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間写さないでください。
CMOSセンサーが破損する原因になります。**

■ 本機背面のキャビネットは、サービスマン以外開けないでください。（故障の原因になります。）
■ 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
■ 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
■ この商品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当しますので、輸出または海外に持ち出す場合は、同法に基づく関連法規を順守してください。

無線通信の使用範囲について

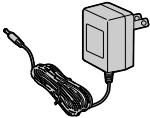
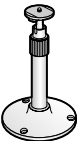
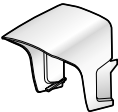
本機と無線機器の距離が約50cm～120m (屋内見通し距離)、約50cm～600m (屋外見通し距離) の範囲でお使いください

(無線機器の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

次のような場所でのご使用は避けてください
(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

- 特定無線局や移動通信体のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置など2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内

本機と無線機器の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください
(電波を通しにくい物質が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター（☞ 56ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター（☞ 56ページ）へお問い合わせください。

付属品

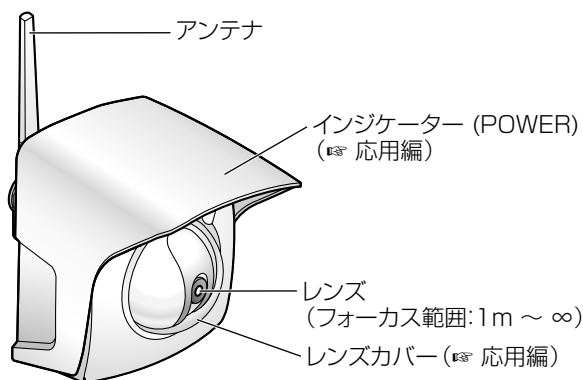
ご使用いただくまえに、次の付属品がそろっているか確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

● ACアダプター ‥ 1個 (電源コード長さ：約10m)	● スタンド………. 1個 (フレキシブルタイプ)	● 日よけハウジング ………… 1個
● ゴムカバー ‥‥ 1個	● ねじA‥‥‥‥ 5本 ・コネクターカバーおよび日よけハウジング固定用	● コネクターカバー‥ 1個 (シーリングゴム付)
● パテ‥‥ 1セット (4枚)	● ねじB ……… 3本 ・スタンド取り付け用	● 自己融着テープ‥‥ 1個 (長さ：約2m)
● 取扱説明書 (基本編) [本書] ………… 1冊	● セットアップCD-ROM※ (取扱説明書含む) ………… 1枚 ● 保証書……………………… 1式	

※ セットアップCD-ROMの内容については、CD-ROMの中の "ReadmeJpn.txt" ファイルを参照してください。
※ セットアップCD-ROMには、取扱説明書 (基本編) と取扱説明書 (応用編) が入っています。

各部のなまえとはたらき

前面

■インジケーターについて

状態		表示
電源投入時	LAN未接続	オレンジに点灯 → オレンジに点滅 → オレンジに点灯
	LAN接続	オレンジに点灯 → 緑に点滅 → 緑に点灯
待機時および通信中※1		緑に点灯
DHCP利用時	IPアドレス未取得※2	緑に点滅
	IPアドレス取得完了	緑に点灯
バージョンアップ中 (ファイル名入力画面表示中)		オレンジに点滅
CLEAR SETTING ボタンを押したとき		オレンジに 2 回点滅 (約1分後に再起動します。)
本機に異常発生時		赤に点滅(☞ 53ページ)

※1 Ethernetケーブルを抜くなど、LAN (ローカルエリアネットワーク) に接続していないときは、オレンジ点灯に変わります。

※2 LANに接続していないときは、オレンジ点滅になります。

各部のなまえとはたらき

底面

背面

CLEAR SETTING ボタン
（☞ 応用編）

I/O コネクター
（☞ 応用編）

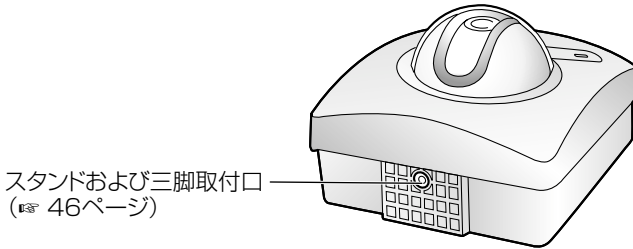
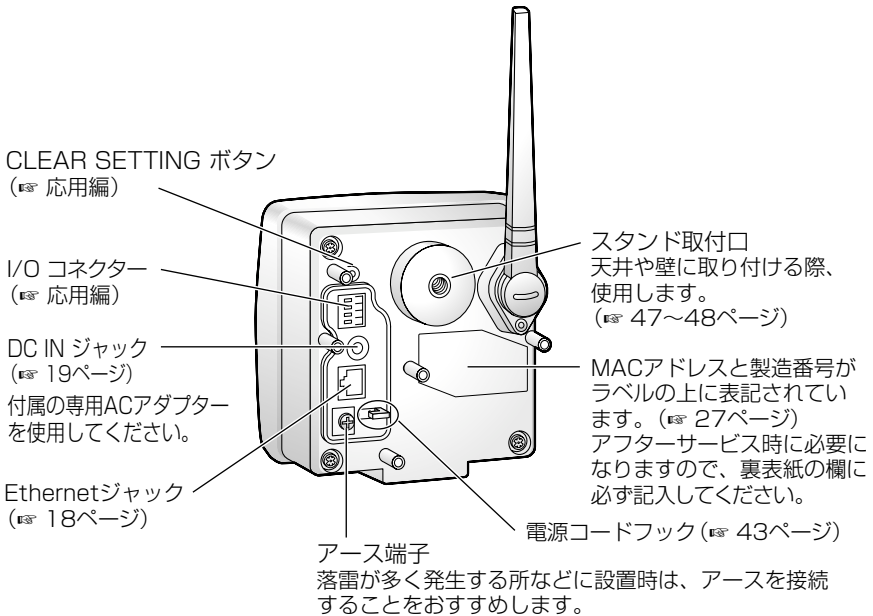
DC IN ジャック
（☞ 19ページ）
付属の専用ACアダプター
を使用してください。

Ethernetジャック
（☞ 18ページ）

アース端子
落雷が多く発生する所などに設置時は、アースを接続
することをおすすめします。

スタンド取付口
天井や壁に取り付ける際、
使用します。
（☞ 47〜48ページ）

MACアドレスと製造番号が
ラベルの上に表記されてい
ます。（☞ 27ページ）
アフターサービス時に必要に
なりますので、裏表紙の欄に
必ず記入してください。

電源コードフック（☞ 43ページ）

使うまでの流れについて

下記流れにて接続、設定、設置を行ってください。

接続タイプを選ぶ（☞ 16ページ～17ページ）

接続する（☞ 18ページ～19ページ）

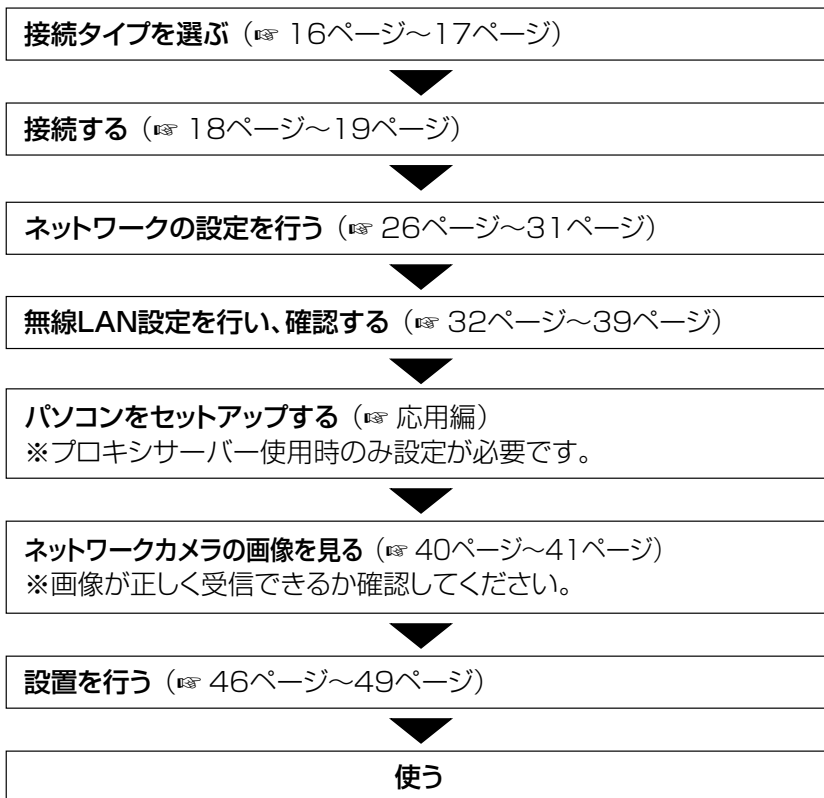
ネットワークの設定を行う（☞ 26ページ～31ページ）

無線LAN設定を行い、確認する（☞ 32ページ～39ページ）

パソコンをセットアップする（☞ 応用編）
※プロキシサーバー使用時のみ設定が必要です。

ネットワークカメラの画像を見る（☞ 40ページ～41ページ）
※画像が正しく受信できるか確認してください。

設置を行う（☞ 46ページ～49ページ）

使う

接続のしかた

準備するもの

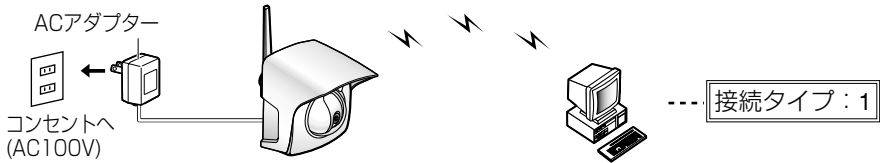
ネットワークカメラを接続する前に、次のものを準備してください。

- 2ページのシステム構成を満たすパソコン
- LAN接続用の Ethernet ハブまたはルーター
- Ethernet ケーブル（カテゴリー5のストレートケーブルまたはクロスケーブル）

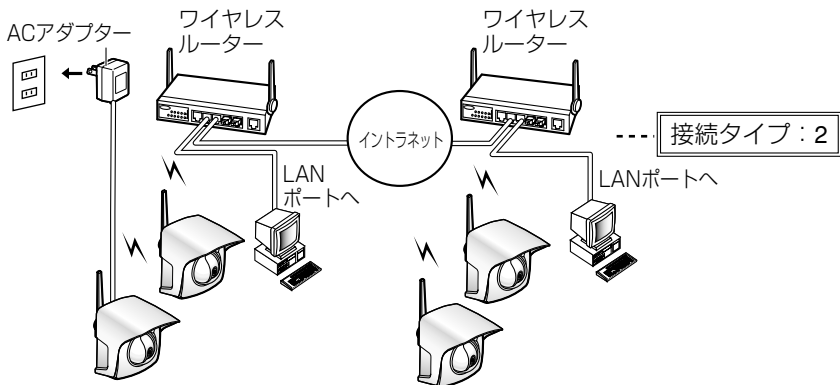
ネットワーク接続のタイプが16～17ページの接続タイプ（1～4）のどれに当たるかを確認してください。
ネットワークカメラの設定でこの接続タイプを使用します。（☞ 20～21ページ）
接続について不明な点がありましたら設置業者にお問い合わせください。

接続のしかた

接続タイプ

■ パソコンに直接接続するとき（アクセスポイントを使用しない）

- 無線LANで使用する場合は無線LANカードなどの無線機器を装着したパソコンが必要です。有線で使用する場合は必ずEthernetケーブル（カテゴリー5のクロスケーブル）を使用してください。

■ イントラネット接続のとき（ワイヤレスルーターを使用する）

- 電源は各ネットワークカメラに必要です。

- 有線接続でマルチ画面上の動画像をご覧になるときは、画像の更新速度の低下を防ぐため、Ethernet ハブにはEthernet スイッチングハブを使用することをおすすめします。

■ インターネット接続のとき

●インターネット接続について不明な点がありましたら、設置業者にお問い合わせください。

●電源は各ネットワークカメラに必要です。

インターネット

ケーブル線
または
xDSL線

ケーブルモデムまたは
xDSLモデム (1ポート)

ネットワークカメラ単独での接続

接続タイプ：3

● ネットワークカメラはPPPoEをサポートしていません。PPPoEが必要なときは、PPPoE対応のルーターを使用し、「接続タイプ4」で接続してください。

ケーブル線
または
xDSL線

ケーブルモデムまたは
xDSLモデム (1ポート)

ワイヤレス
ルーター

接続タイプ：4

LANポートへ

● ルーターを利用するときは
  •ポートフォワーディング機能が必要です。（☞ 25ページ）
   ポートフォワーディング未対応のルーターには接続できません。
  •インターネット（WAN側）からのアクセス制御（IPフィルターなど）が設定されているときは、インターネットからアクセスできるように設定してください。
   設定についてはルーターの取扱説明書を参照してください。

● ネットワークカメラは、httpサーバー機能が搭載されており、工場出荷値は80のポート番号（☞ 応用編）を使用しています。
80番のポート番号が使用できるか、プロバイダーに確認し、使用できない場合は、使用可能なポート番号に変更してください。

● 有線接続でマルチ画面上の動画像をご覧になるときは、画像の更新速度の低下を防ぐため、Ethernet ハブにはEthernet スイッチングハブを使用することをおすすめします。

準備

接続する（ネットワーク・電源）

16～17ページの接続タイプを参照しながら Ethernet ケーブルおよびACアダプターを接続する

1 Ethernetケーブルを接続する

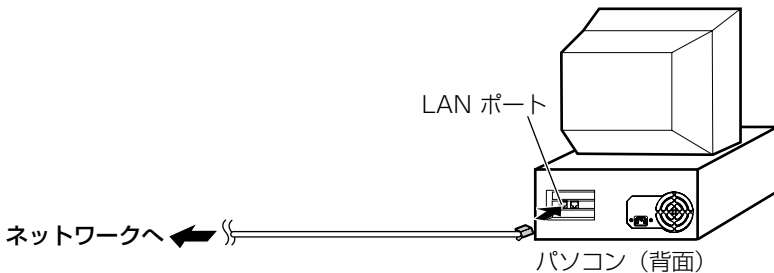
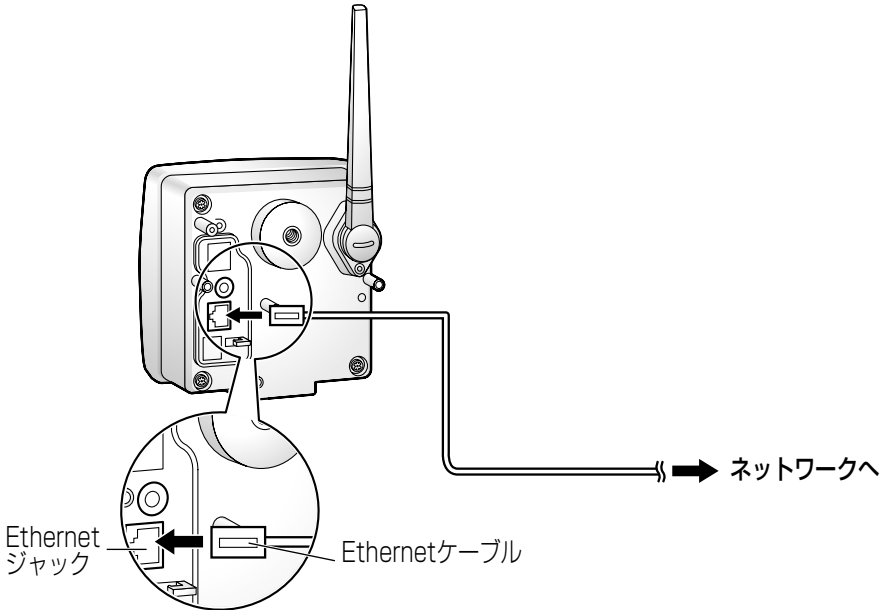
ネットワークへ

Ethernet
ジャック

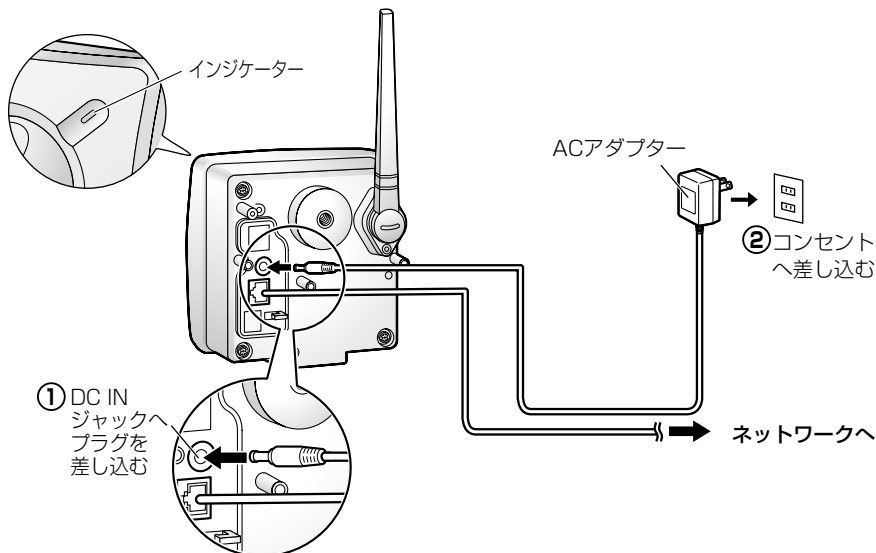
Ethernetケーブル

LAN ポート

ネットワークへ

パソコン（背面）

- **設定は必ず有線（Ethernetケーブル使用）で行ってください。**
- ネットワークカメラをパソコンへ直接接続する「接続タイプ：1」の場合は、必ず Ethernet ケーブル（カテゴリー5のクロスケーブル）をご使用ください。
- 「接続タイプ：2、3、4」の場合は、Ethernet ケーブル（カテゴリー5のストレートケーブル）をご使用ください。

2 ACアダプターを接続する

● インジケーターが緑に点灯していることを確認してください。

- **有線で接続するためには、Ethernetケーブルを接続後、ACアダプターを接続してください。**
- 電源を入れるときは、CLEAR SETTINGボタンを操作しないでください。
- 工場出荷時に戻す作業が完了する前に、電源を切断しないでください。

- ACアダプターをコンセントに差し込むと、インジケーターが点滅し、パン／チルト可動部が、全可動域へパン/チルト動作後、ホームポジション (工場出荷値：正面) で止まり、点滅から点灯へ変わります。
- インジケーターがオレンジに点灯している場合は、Ethernetケーブルが正しく接続されているか、パソコン、ハブ、ルーターが正しく動作しているかどうかを確認してください。

⚠ 警告

■ 専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

禁　止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

ネットワークの設定

ネットワークの設定内容について

ネットワークカメラを設定するには以下の項目が必要です。

■ ネットワークの設定に必要な項目

- IP アドレス / サブネットマスク
  （工場出荷値：IPアドレス192.168.0.253 / サブネットマスク255.255.255.0）
  または、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol：IPアドレス自動取得）のときはホスト名
- ポート番号
  （工場出荷値：80）
  プロバイダーによっては、80のポート番号を使用できないときがあります。
  その際は、インターネットからアクセスできるポート番号をネットワーク管理者または、プロバイダーから入手してください。
- デフォルト ゲートウェイ
  （ゲートウェイを使用するときのアドレス）
- DNS サーバー1 / DNS サーバー2
  (DNS : Domain Name System)

接続のタイプ（☞16〜17ページ）を確認し、設定画面の各項目の設定に関する情報を集めてください。

接続タイプ1...........ネットワークカメラはお買い上げ時の設定のままご使用ください。
パソコンにはIPアドレス (192.168.0.252)、サブネットマスク (255.255.255.0) を設定してください。（☞応用編「パソコンのIPアドレスを設定する」）
接続タイプ2...........ネットワーク管理者から設定値を取得してください。
接続タイプ3...........プロバイダーから設定値を取得してください。
接続タイプ4...........ご使用のルーターの取扱説明書を参照してください。

- 同じネットワーク上にあるパソコンから、下記の設定値 (IPアドレス以外) を取得できます。（☞22ページの「おしらせ」）

- 接続タイプに対応した設定値をメモしてください。

✎ IPアドレス　　　.　　.　　.

✎ サブネットマスク　　　.　　.　　.

✎ ゲートウェイアドレス　　　.　　.　　.

✎ DNS サーバー1アドレス　　　.　　.　　.

✎ DNS サーバー2アドレス　　　.　　.　　.

■ 接続タイプ別設定項目一覧表（無線設定については32ページ～39ページ参照）

設定項目	接続タイプ 1	接続タイプ 2	接続タイプ 3	接続タイプ 4
ポート番号	設定する必要はありません。	80を設定してください。（工場出荷値）		80を設定※1
IPアドレス、サブネットマスク	設定する必要はありません。	「IPアドレスを指定する」をチェックし、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。	• グローバルIPアドレスが固定の場合は、「IPアドレスを指定する」をチェックし、IPアドレスとサブネットマスクを入力してください。 • グローバルIPアドレスが固定でない（DHCP）場合は、「DHCPを指定する」をチェックし、ホスト名を入力してください。	「IPアドレスを指定する」をチェックし、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。※3
デフォルトゲートウェイ※4	設定する必要はありません。	ゲートウェイのアドレスを設定してください。	ゲートウェイのアドレスを設定してください。※2	プロバイダーが指定するゲートウェイではなく、ご使用のルーターのIPアドレス（LAN側）を設定してください。※3
DNSサーバーアドレス1、2※4	設定する必要はありません。	DNSサーバーのアドレスを設定してください。	DNSサーバーのアドレスを設定してください。※2	DNSサーバーのアドレスを設定してください。
DDNSサーバーを利用する（連絡先E-mailアドレスを入力すると「みえますねっと」サーバーから登録のご案内メールが送付されます。）	DDNSサーバーは利用できませんので、設定する必要はありません。		• ネットワークカメラのグローバルIPアドレスが固定の場合は、固定のIPアドレスで接続できます。 • ネットワークカメラのグローバルIPアドレスが固定でない（DHCP）場合や、IPアドレスのかわりにドメイン名を含むURLでネットワークカメラへ接続したい場合は、DDNSサービスへの契約が必要です。（☞ 23ページ）	• ルーターのグローバルIPアドレスが固定の場合は、固定のIPアドレスで接続できます。 • ルーターのグローバルIPアドレスが固定でない（DHCP）場合や、IPアドレスのかわりにドメイン名を含むURLでネットワークカメラへ接続したい場合は、DDNSサービスへの契約が必要です。（☞ 23ページ）
通信帯域制限の設定	「0.1Mbps」から「制限しない」の間で選択してください。			

（※1）：複数のネットワークカメラを使用する場合は、それぞれ固有のポート番号を設定してください。
　　　　ルーターにポートフォワーディング機能（☞ 25ページ）を設定する必要があります。
（※2）：DHCPサーバーより、デフォルトゲートウェイとDNSサーバーのアドレスを自動取得する場合は、設定する必要はありません。
（※3）：詳しい設定については、ルーターの説明書を参照してください。
（※4）：DDNSを使用するとき、または画像転送時にFTP／メール転送を使用するときは、必ず設定してください。

つづく

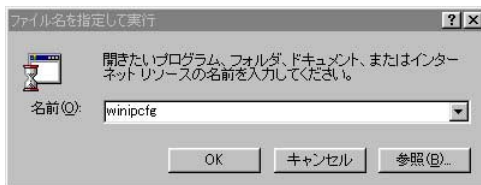
ネットワークの設定

- インターネットでは使われないネットワークIDを「プライベートIPアドレス」と呼び、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。ローカルネットワークの規模に応じてクラスを選び、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートIPアドレス （この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる）
クラス A	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ～ 10. 255. 255. 254
クラス B	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ～ 172. 31. 255. 254
クラス C	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ～ 192. 168. 255. 254

ローカルネットワーク内でネットワークカメラをご使用の場合は、IPアドレスとサブネットマスクをパソコンと同じクラスで設定してください。また、デフォルトゲートウェイとDNSサーバーはパソコンと同じものを設定してください。
以下の手順で使用しているパソコンのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーを確認することができます。上の表でパソコンのクラスを確認してください。

- Windows 98 または Me をお使いの場合

1 Windowsの[スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択すると、次の画面が表示されます。

2 データ入力欄に [winipcfg] と入力し、 OK をクリックします。

3 詳細(M)>> をクリックします。
この操作で、IP設定画面が表示され、パソコンのネットワーク情報を確認することができます。

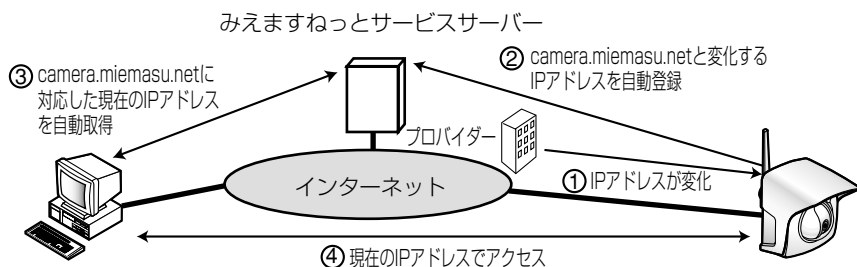
- Windows 2000、 NT※または XPをお使いの場合

コマンドプロンプト（スタート → プログラム → アクセサリ → コマンドプロンプト）を起動させ、[ipconfig /all]を入力し、Enterを押します。
C: >ipconfig /all
この操作で、パソコンのネットワーク情報を確認することができます。
（※）NTの場合、コマンドプロンプトは スタート→プログラム→ MS-DOS® プロンプトの手順で起動します。

みえますねっとサービス (DDNS) について

みえますねっとサービス (有料) は、インターネット経由でカメラ画像をモニタリングする際に、パナソニック コミュニケーションズ (株) が推奨するDDNSサービスです。多くのプロバイダーはグローバルIPアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のIPアドレスでネットワークカメラにアクセスできなくなります。この場合、インターネットからネットワークカメラにアクセスするためには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- ドメイン名サービス (「みえますねっとサービス」など)
  IPアドレスが変化しても固定のドメイン名 (例: camera.miemasu.net)でアクセスできるサービス
- 固定IPアドレスサービス (ご契約プロバイダーのサービスのひとつ)
  IPアドレスが変化しない (固定) サービス

みえますねっとサービスの詳細情報については、ウェブサイト (http://www.miemasu.net) を参照してください。

① 使用しているプロバイダーが、グローバルIPアドレスをルーターまたはネットワークカメラに割り振ります。このときに割り振られるグローバルIPアドレスは、固定ではなく随時変化します。(動的グローバルIPアドレス)
② みえますねっとサービスサーバーに、グローバルIPアドレスとネットワークカメラにつけたドメイン名を登録します。
③ インターネット側からアクセスする際、ウェブブラウザにドメイン名を含むURLを入力すると、みえますねっとサービスサーバーがグローバルIPアドレスを調べて、登録されているネットワークカメラを自動的に検索します。
④ インターネット側のパソコンは、自動取得したグローバルIPアドレスでネットワークカメラへアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。

プロバイダーによっては、プライベートIPアドレスが割り振られることがあります。その場合は、みえますねっとサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーに確認してください。

つづく

ネットワークの設定

みえますねっとサービス (DDNS) の登録方法について

1. カメラの設定をする（☞26ページ）
2. カメラの電源を入れ直し、セットアップソフトウェアを起動する
3. 「ネットワーク設定」をクリックし、ネットワークカメラリスト画面より、みえますねっとを利用するカメラを選ぶ
4. 「選択」をクリックし「ネットワークの設定」において、デフォルトゲートウェイとDNSサーバーが設定されていることを確認する
   - 設定されていなければ、入力してください。
5. 「DDNSサーバーを利用する」にチェックし、「連絡先E-mailアドレス」を入力する
   - 「みえますねっと」サーバーから登録のご案内が送付されますので、お使いのE-mailアドレスを入力してください。
6. 「保存」をクリックする
   - 設定内容が保存され、ネットワークカメラが再起動します。
7. ネットワーク設定の終了画面で「OK」→「取消」の順にクリックする
8. ネットワークカメラリスト画面より再度、みえますねっとを利用するカメラを選ぶ
9. 「選択」をクリックし「ネットワークの設定」画面を表示させる
10. 「DDNSサーバーを利用する」の欄の「利用者登録」をクリックする
    - 新規にウェブ画面が現れますので、画面の指示に従ってサービスの利用者登録を行ってください。登録終了後、カメラURLが自動的に設定されます。
    - 登録終了後、「ネットワーク設定」画面を閉じてください。

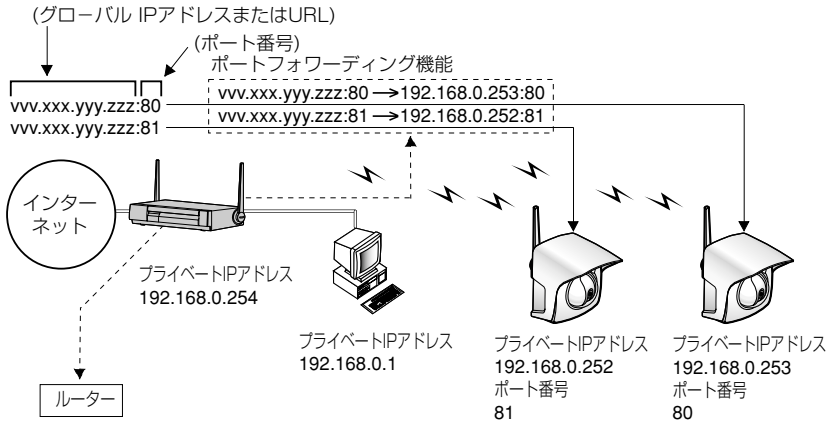
- 利用者登録ボタンが押せない場合は、ネットワークカメラがインターネットに接続できない可能性があります。ネットワーク設定またはルーターの設定を確認後、カメラを再起動してください。
- 詳細は、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/) を参照してください。

ルーターに接続して利用するときは

ポートフォワーディング機能※ をルーターに設定することが必要です

※ルーターによっては、ポートフォワーディング機能を「アドレス変換」、「静的IPマスカレード」、「バーチャルサーバー」、「仮想サーバー」もしくは「ポートマッピング」と呼んでいる製品もあります。

インターネット接続のときにルーターを使用する場合は、グローバルIPアドレスからプライベートIPアドレスに変換するポートフォワーディング機能をルーターに設定する必要があります。また、各ネットワークには独自のポート番号を設定する必要があります。複数のネットワークカメラを使用するときは、それぞれ固有のポート番号を設定してください。

● 詳しくは、使用しているルーターの取扱説明書を参照してください。

ネットワークの設定

ネットワークの設定

ネットワークカメラを設定する

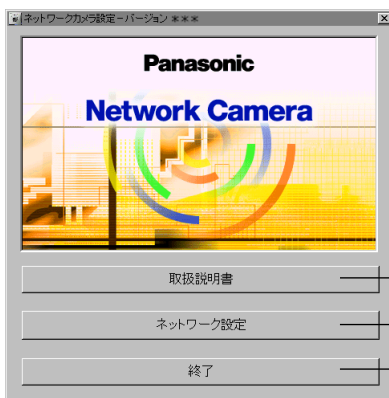
ネットワークカメラのネットワーク設定は、付属のセットアップCD-ROMを使い簡単に行うことができます。

1 ネットワークカメラをネットワークに接続後、ACアダプターをコンセントに差し込み、ネットワークカメラの電源を入れる

- ネットワークカメラの接続タイプ（☞16～17ページ）が「1」のときは、パソコンのIPアドレスを確認し設定されていなければ、設定してください。（☞応用編「パソコンのIPアドレスを設定する」）

- ローカルポート (LAN側) を複数もつルーターを使用する場合は、ローカルポートにパソコンとネットワークカメラを接続してください。ルーターを経由した異なるネットワークに接続した場合、セットアップソフトウェアはネットワークカメラを検知できません。

2 付属のセットアップCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- 次のような画面が表示されます。
  （表示されない場合は、セットアップCD-ROMの "**Setup.exe**" ファイルを起動させてください）

取扱説明書：セットアップCD-ROM の中の取扱説明書を参照できます。
参照するには、Adobe® Acrobat® Reader 4.05（日本語版）以上が必要です。
導入されていないパソコンをご使用の場合は、クリック後にダイアログボックスが表示されます。指示に従い、インストールしてください。

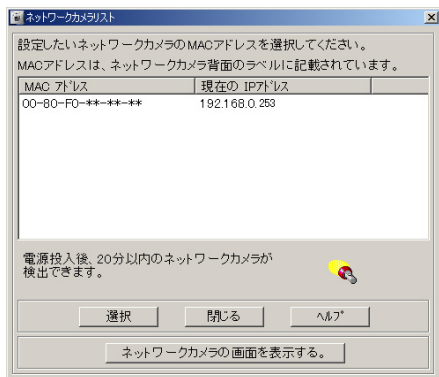
ネットワーク設定：ネットワークカメラを設定します。

終了：セットアップソフトウェアを終了します。

3 ネットワークカメラがネットワークに接続されたことを確認したあと、電源を入れ直す

- **ネットワークカメラの電源を入れて20分以上経過している場合には、ネットワークカメラのACアダプターをコンセントから抜き、もう一度入れて、再度セットアップソフトウェアを起動してください。**
- **設定は電源投入後、20分以内に完了してください。**

4 ネットワーク設定 をクリックする

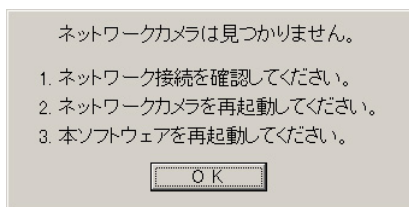
- ネットワークカメラリスト画面が表示されます。
- ネットワークに接続されているすべてのネットワークカメラの検索を行い、MACアドレスとIPアドレスが表示されます。

- アフターサービス時に必要となりますので、本機背面のラベル（☞14ページ）を参照し、MACアドレスと製造番号を裏表紙の欄に記入してください。

MACアドレスとは：
Ethernet 機器はすべて 48 bit で構成される固定の Ethernet アドレスを持っています。Ethernet アドレスはそれぞれのハードウェア装置に個々に割り振られるものであり、ハードウェアアドレス、物理アドレス、メディアアクセスコントロール（MAC）アドレス、レイヤー2アドレスとも呼ばれます。
この取扱説明書では、MACアドレスという用語を使用しています。

- ネットワークカメラは、背面のラベルに書かれている(00-80-f0-xx-yy-zz)のような、独自のMACアドレスを持っていますので、LAN上に複数のネットワークカメラがある場合は、設定しようとしているネットワークカメラのMACアドレスと照合してください。

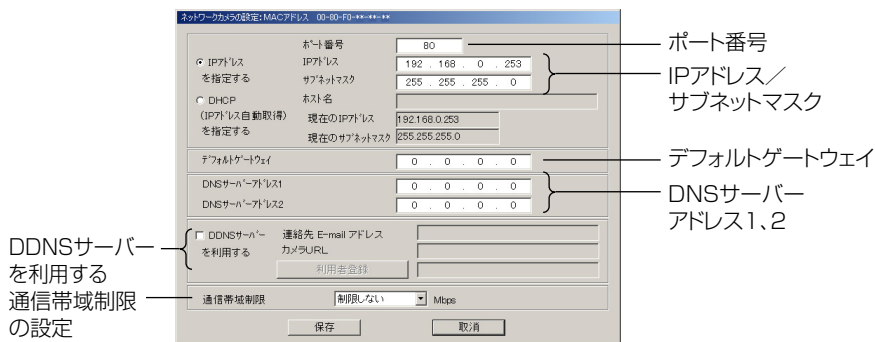
つづく

ネットワークの設定

● セットアップソフトウェアがネットワークカメラを見つけることができなかったときは、次のエラーメッセージを表示します。

この場合は、メッセージに従って、次のことを確認してください。

1. ケーブルが正しく接続されていることを確認する
2. ネットワークカメラを再起動する
   - このセットアップソフトウェアでは、ネットワークカメラの電源を投入後、20分以上経過するとカメラを認識することができなくなります。
3. セットアップソフトウェアを再起動する
4. ネットワークカメラのインジケーターが緑に点灯していることを確認する
5. パソコンのIPアドレスが設定されているか確認する（☞ 22ページのおしらせ）
   設定されていないときは、応用編「パソコンのIPアドレスを設定する」に従い設定してください。

5 設定したいネットワークカメラを選択し、 選択 をクリックする

● 設定画面が表示されます。接続タイプに対応したネットワークカメラの設定値を入力してください。（☞ 20、21ページ）

6 設定終了後 保存 をクリックする

● 設定が正しければ、下記のメッセージが表示されます。

ネットワーク設定
正常終了
OK

● ネットワークカメラは、ネットワーク設定後、自動的に再起動します。
● 次のメッセージが表示される場合、そのIPアドレスはすでに使用されている可能性があります。
ネットワーク管理者にIPアドレスを確認し、使用されていないアドレスを入力してください。

IPアドレスが重複しています。
OK

7 OK をクリックする

● 下記の画面が表示されます。

ネットワークの設定

つづく

8 メニュー画面 または ネットワーク設定画面 をクリックする

(例) メニュー画面 をクリックした場合は、下記の画面が表示されます。

- 「メニュー画面」または「ネットワーク設定画面」が表示されたら、ネットワーク設定は完了しています。
  無線で使用する場合は、 ネットワーク設定画面 をクリックし、Ethernetケーブルを接続したままで、無線LANの設定を行ってください。(☞ 32ページ～38ページ)

9 すべてのセットアップソフトウェアのダイアログボックスを閉じたあと、セットアップCD-ROMを取り出す

● ネットワークカメラのセキュリティ管理のために、セットアップCD-ROMから設定内容の変更ができないように、カメラのネットワーク設定で指定できます。(☞ 応用編「ネットワークの設定」)

● **メニュー画面** または **ネットワーク設定画面** をクリックしても画面を表示しないときは、次の項目を行ってください。

- ネットワークカメラのIPアドレスとポート番号（"http://192.168.0.253"、あるいは工場出荷時の設定を変更したときは、設定したIPアドレス）が正確に入力されているか確かめる。
- インターネットからLAN内のネットワークカメラに接続するときは、ルーターのグローバルIPアドレスとカメラのポート番号が正確に入力されているか確かめる。ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。
- ネットワークカメラの設定内容が正しいか確かめる。また、電源やネットワークへの接続が確実にできているか確認する。(☞15～31ページ)
- パソコンと同じクラスのIPアドレスになっていることを確認する。(☞ 20、22ページ)
- プロキシサーバー使用時はウェブブラウザの設定を行う。(☞ 応用編「パソコンをセットアップする」)
- ネットワークカメラの接続タイプ（☞ 16～17ページ）が「3」のときは、実際に使用する環境に再接続したあとで確認する。
- ルーターにインターネット(WAN側)からのアクセスを制限する (IPフィルターなど) 設定がされていないか確認し、設定されているときは、インターネットよりアクセスできるように設定する。
詳しくは、ルーターの取扱説明書を参照してください。
- ポート番号が80番を使用できるかをネットワーク管理者または、プロバイダーに確認し、使用できないときは、使用できるポート番号を入手し設定する。

無線LANを設定する

最初に設定するときは、必ず有線（Ethernetケーブル使用）で行ってください。

1 パソコン上で、ウェブブラウザを起動する

2 http://IPアドレス（またはURL):ポート番号をアドレス枠に入力し、[Enter] を押す
（ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません）
- メニュー画面が表示されます。

3 **「3.設定画面」**をクリックする
- 設定画面が表示されます。

4 ネットワークカメラの設定画面で ネットワーク をクリックする

● ネットワーク設定画面が表示されます。

ネットワーク設定

1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする. ☑

セットアップソフトウェアからの設定後は、第三者から変更されないようにチェックをはずしてください.

2. 無線LAN 接続状態表示

最初に通信モード、暗号化(WEP)の設定をしてください.

通信モード　インフラストラクチャ　アドホック

SSID

通信速度　自動

暗号化(WEP)　無効　64 bit　128 bit

3. インターネット接続

ポート番号　80

◉ IPアドレスを指定する.

IPアドレス　192.168.0.253

サブネットマスク　255.255.255.0

○ DHCP(IPアドレス自動取得)を指定する.

ホスト名

現在のIPアドレス　192.168.0.113

現在のサブネットマスク　255.255.255.0

4. デフォルト ゲートウェイ

ゲートウェイを使用する場合に設定します.

ゲートウェイ

5. DNS

ホスト名を使用する場合は、適切なDNSサーバーアドレスを設定してください.
E-mail、マルチ画面の機能に有効です.

DNSサーバーアドレス1

DNSサーバーアドレス2

6. DDNSサーバーを利用する. ☐

IPアドレスの自動取得利用時はカメラに固定のIPアドレスでアクセスできません. この場合、DDNSサーバーを利用すると固定のURLで接続できるようになります. 利用時はゲートウェイとDNSを必ず設定してください.

連絡先 E-mailアドレス

連絡先 E-mailアドレスを入力すると、**「みえますねっと」**サーバーから登録のご案内メールが送付されます.

カメラURL

利用者登録

7. 通信帯域制限　制限しない.　Mbps

保存　取消

ネットワークの設定

つづく

ネットワーク設定

1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする。 ☑

セットアップソフトウェアからの設定後は、第三者から変更されないようにチェックをはずしてください。

2. 無線LAN　接続状態表示 — 無線の接続状態を表示します。（☞37 ページ）

最初に通信モード、暗号化(WEP)の設定をしてください。

通信モード	インフラストラクチャ　アドホック	5.
SSID		7.
通信速度	自動	8.
暗号化(WEP)	無効　64 bit　128 bit	6.

- **最初に通信モードと暗号化 (WEP) とその入力方式を設定してください。**
- **無線LANの各設定はルーターの設定値に合わせることによって無線通信ができるようになります。各設定内容はメモしておき、大切に保管してください。**

5 通信モード（インフラストラクチャ、アドホック）を選択する

インフラストラクチャ：ルーターを使用してネットワークを構成するときは「インフラストラクチャ」を選択します。ルーターで指定されているチャンネルを自動的に認識するので、チャンネルを設定する必要はありません。

アドホック：ネットワークカメラをピアツーピア (peer-to-peer) のネットワークで使用するときは、「アドホック」を選択します。通信チャンネル設定画面が表示されるので、1～14の間で任意のチャンネルを設定してください。（工場出荷時は6が選択されています。）また、アドホックで接続する場合は、802.11b AdHocに対応した無線LANカード、無線USBアダプターなどの無線機器を使用してください。

- 他の無線LANと通信チャンネルが重なると、通信速度が下がる場合があります。他の無線LANの影響を受けないよう、チャンネルを5チャンネル以上離した設定にしてください。

6 暗号化 (WEP) を設定する

暗号化 (WEP)：無線LAN内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化 (WEP) を行うと、万一無線LANのデータを、他人に読まれても解読することが困難になります。暗号化は、無線LANのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。暗号化キーは、パスワードを指定して作成することもできます。暗号化キーは、64 bit※と128 bitの2種類あります。128 bitの暗号化キーはさらに安全性が高まります。

※ ルーターによっては、「40 bit」と表示されているものもあります。

64 bitを選んだ場合

「キー入力」か「パスワード入力」を選んでキーを指定し、認証方式と標準キーを選んでください。

「キー入力」：ルーターに設定している同じ暗号化 (WEP) キーを直接入力します。キー1～キー4に10桁の16進数 (半角英数字で"0"～"9"、"A"～"F"または"a"～"f"、大文字・小文字は区別されない) を入力します。

「パスワード入力」：ルーターに設定している同じパスワード (半角英数字31文字以内※、大文字・小文字は区別される) を入力して、暗号化 (WEP) キーを自動生成する方法です。

※ [スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:]は使えません。

パスワード入力については、ルーターなどの種類によって暗号化 (WEP) キーの自動生成方法が異なることがあるので、無線接続できないことがあります。その場合はキー入力で設定してください。

「認証方式」：Shared Key:無線認証方式のひとつで、暗号化 (WEP) キーを使って認証を行います。
Open System:無線認証方式のひとつで、一部のメーカーで採用されています。

「標準キー」：1～4の標準キーの中からルーターで選択しているキーと同じものをひとつ選択してください。

キー入力を選んだときの例)	キー1	01 23 45 ab cd
	キー2	cd ef 23 45 67
	キー3	ef 67 89 01 ab
	キー4	cd ab 01 23 45
	認証方式	Shared Key
	標準キー	1

パスワード入力を選んだときの例)	パスワード	Panasonic
	認証方式	Shared Key
	標準キー	1

つづく

128 bitを選んだ場合

「キー入力」か「パスワード入力」を選んでキーを指定し、認証方式を選んでください。

「キー入力」: ルーターに設定している同じ暗号化 (WEP) キーを直接入力します。キー入力欄に26桁の16進数 (半角英数字で"0"～"9"、"A"～"F"または"a"～"f"、大文字・小文字は区別されない) を入力します。

「パスワード入力」: ルーターに設定している同じパスワード (半角英数字31文字以内※、大文字・小文字は区別される) を入力して、暗号化 (WEP) キーを自動生成する方法です。

※ [スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:]は使えません。

パスワード入力については、ルーターなどの種類によって暗号化 (WEP) キーの自動生成方法が異なることがあるので、無線接続できないことがあります。その場合はキー入力で設定してください。

「認証方式」: Shared Key:無線認証方式のひとつで、暗号化 (WEP) キーを使って認証を行います。

Open System:無線認証方式のひとつで、一部のメーカーで採用されています。

キー入力を選んだときの例)	キー	ab 54 ef 87 23 98 ba 54 fe 10 cd 76 9c
	認証方式	Shared Key
パスワード入力を選んだときの例)	パスワード	Panasonic
	認証方式	Shared Key

7 SSIDを設定する

SSID：半角英数字32文字以内※（大文字・小文字は区別される）で、ネットワークの名前を入力します。SSIDはESSIDと呼ばれることもあります。

- SSIDは、必ず入力してください。
- 同じ無線LANに接続する機器（無線LANカードなど）には、同じSSIDを設定してください。SSIDを設定できないタイプの無線LANカードの場合、通信することができません。

※ [スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:]は使えません。

8 通信速度を設定する

通信速度：通常は「自動」のままにします。変更する場合は任意の速度を選択してください。パーティションなどの障害物の多いオフィス内で通信状態が悪いとき、手動で通信速度を落とすことで、接続を維持することが可能です。

9 保存 をクリックして 再起動！ をクリックする

設定画面で ネットワーク をクリックして、 接続状態表示 をクリックすると、無線接続状態を確認することができます。

接続状態表示：ネットワークカメラを無線LANに接続するとき、最適な設置場所をみつけるために役立つ情報を得ることができます。
それぞれの表示は、約10秒ごとに更新されます。

無線LAN

BSSID	**:**:**:**:**:**	(1)
接続チャンネル	7 CH	(2)
通信速度	11 Mbps	(3)
通信状態	****************** 100%	(4)
電波状態	****************** 100%	(5)
ファームウェア	v*.*.*	(6)

(1) BSSID
通信モードがインフラストラクチャのときは、ルーターのBSSID（MACアドレスと同じ）が表示されます。
通信モードがアドホックのときは、SSIDから自動生成されたBSSIDが表示されます。

(2) 接続チャンネル
現在使用しているチャンネル番号が表示されます。

(3) 通信速度
現在の通信速度が表示されます。

つづく

(4) 通信状態※
ノイズに対する相対的な信号強度が18段階と割合 (%) で表示されます。
電波干渉などを受けるとレベル値が下がります。

(5) 電波状態※
電波の強度が18段階と割合 (%) で表示されます。

※通信状態・電波状態は下表を目安に確認してください。

状況	割合
とても強い	100 － 90 %
強い	89 － 60 %
やや弱い	59 － 35 %
弱い	34 － 0 %

(6) ファームウェア
無線部ソフトウェアのバージョンを表示します。設定画面で表示されるバージョンとは、異なります。

通信状態・電波状態を確認し、レベル値が良い場所にネットワークカメラを設置してください。レベル値が下がると通信速度が遅くなったり通信切れを起こしやすくなります。(☞ 11ページ)

無線LAN設定を確認する

無線LANの各項目を設定後、有線から無線に切り替えて正しく起動するか確認する。

1 Ethernetケーブルを抜き、電源を切る（ACアダプターを抜く）

2 ACアダプターを差し込んで、電源を入れる

●有線から無線に切り替わります。

3 パソコン上で、ウェブブラウザを起動する

4 <u>http://IPアドレス (またはURL)</u>:ポート番号をアドレス枠に入力し、[Enter] を押す

（ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）

- 下記メニュー画面が表示されれば無線設定は完了しています。

- 表示されない場合は、ルーターの設定値と一致していない可能性があります。再度有線で接続し、設定を確認してください。
  設定に間違いがない場合は、認証方式を「Open System」に切り替えてみてください。
  また、プロキシサーバーを利用している場合に、画面が表示されないことがあります。プロキシサーバーを経由しないようにパソコンを設定してください。（☞ 応用編「パソコンをセットアップする」）
  それでもメニュー画面が表示されない場合は、販売店にご連絡ください。

- **ネットワークカメラの無線設定およびインターネット接続の設定は、むやみに変更しないでください。**
  無線使用時に設定値を変更するとネットワークカメラに接続できなくなり、再度、有線接続による各設定が必要になります。その際、防水処理工事で別途費用が発生することがあります。

ネットワークの設定

画像を見る

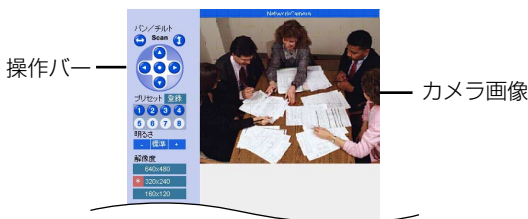
ネットワークカメラの設定終了後、設定が正しく行われているか以下の手順に従って画像を確認してください。なお、操作バー・マルチ画面などの詳細は、セットアップCD-ROM内の取扱説明書 (応用編) を参照してください。

1 パソコン上で、ウェブブラウザを起動する

2 http://IPアドレス (またはURL)：ポート番号をアドレス枠に入力し、 Enter を押す
例：http://192.168.0.253 (またはXXXXX.miemasu.net)
(ポート番号が80 (工場出荷値) に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)

● メニュー画面が表示されます。

3 動画像または静止画像の「シングル画面」を選択する

1台のカメラの画像を表示します。(☞ 応用編)

■ 画像について

● 以下の画面が出てきたときは、[はい(Y)]をクリックしてActiveX®コントロールをダウンロードする必要があります。(☞ 52ページ)

ウェブブラウザのセキュリティ内容によっては、次の画面を表示する場合があります。

● Windows 2000またはXPを使用していて「アプリケーションのインストール」の権限がない場合は、権限を変更してアプリケーションのインストールができるようにしてください。
● ネットワークによっては、利用可能な接続データ量を制限していることがあり、動画像を見られないことがあります。その場合は、メニュー画面において「静止画像」を選択されることをおすすめします。
● プロキシサーバー使用時はウェブブラウザの設定を行ってください。
(☞ 応用編「パソコンをセットアップする」)

■ 設置や利用について

ネットワークカメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

接続のしかた

16～17ページの接続タイプを参照しながら Ethernet ケーブルと電源コードを接続する

1 アンテナを起こし、付属のコネクターカバーにケーブル類を通して接続する

- I/Oコネクターやアース線を使うときは、そのケーブルもコネクターカバーを通して接続してください。

❶ アンテナを起こす

I/Oコネクター

❸ 電源コードをDC INジャックに差し込む

コネクターカバー（付属品）

❷ Ethernetケーブル（有線で使用時）と電源コードをコネクターカバーに通す

❺ ACアダプターをコンセントへ差し込む

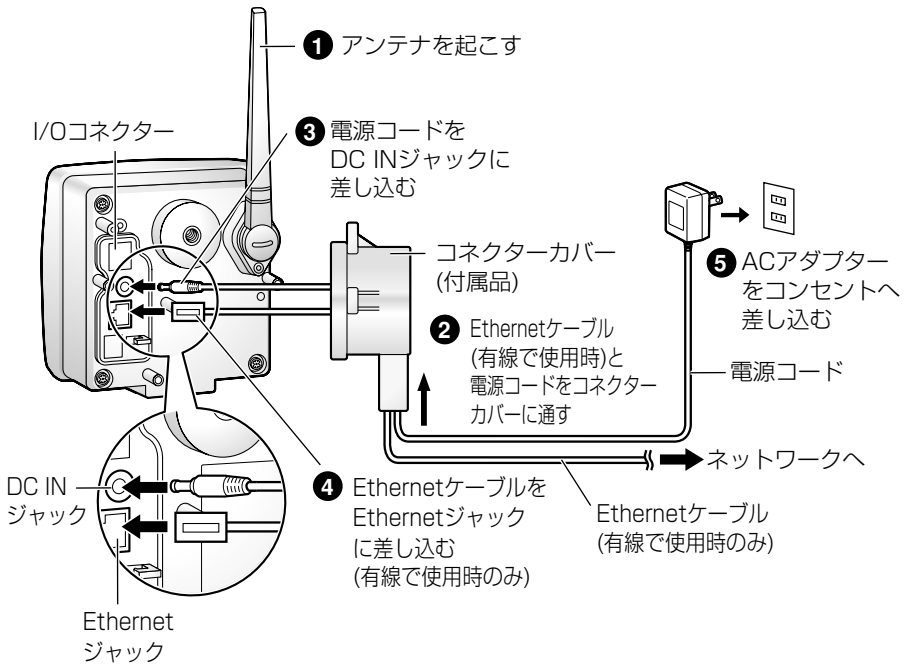
電源コード

ネットワークへ

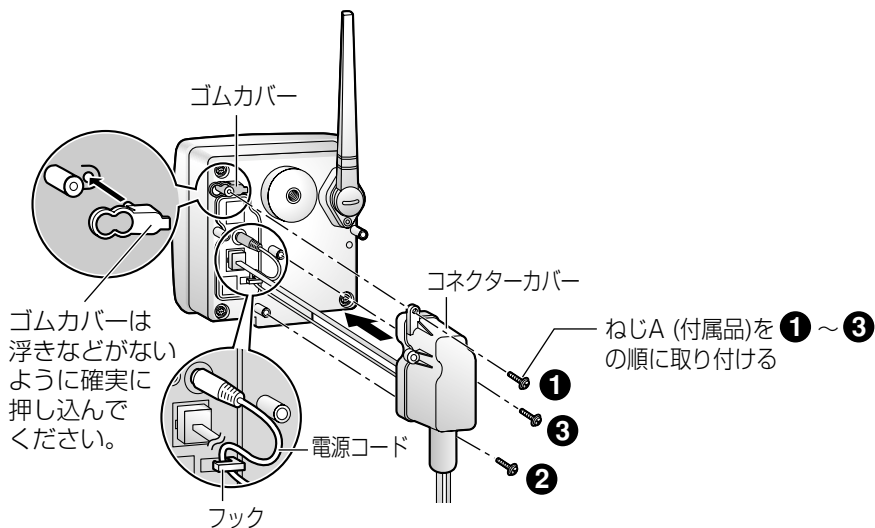
DC INジャック

❹ EthernetケーブルをEthernetジャックに差し込む（有線で使用時のみ）

Ethernetケーブル（有線で使用時のみ）

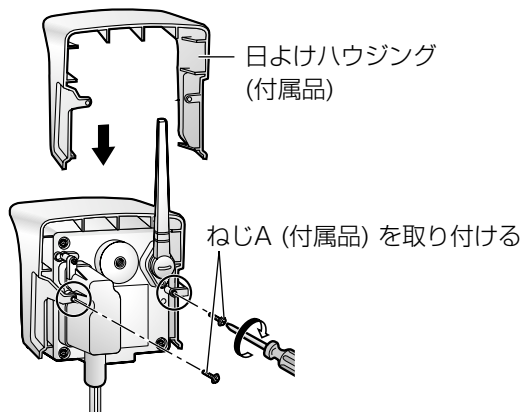
Ethernetジャック

有線で使用する場合

- 屋外でのEthernetケーブルの配線は、できる限り短くしてください。（本機および本機を接続するハブなどに雷などの影響を受けることがあります。）
- 「接続タイプ：2、3、4」の場合は、Ethernet ケーブル（カテゴリー5のストレートケーブル）をご使用ください。
- ネットワークカメラをパソコンへ直接接続する「接続タイプ：1」の場合は、必ず Ethernet ケーブル（カテゴリー5のクロスケーブル）をご使用ください。

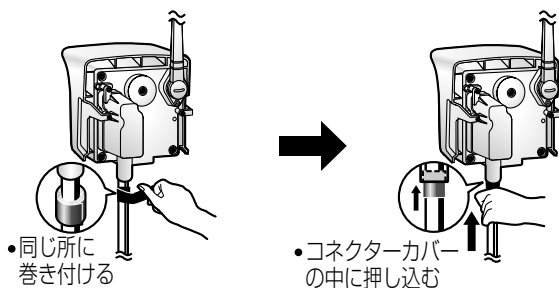
2 電源コードをフックに通し、ゴムカバーとコネクターカバーを取り付ける

● 電源コードは必ずフックを通してください。

3 日よけハウジングを取り付ける

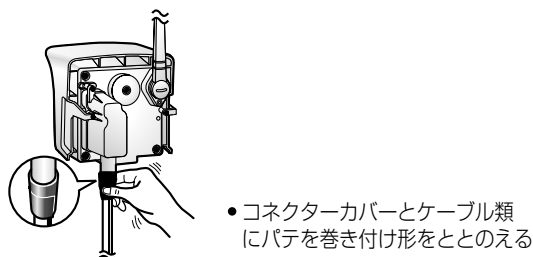
つづく

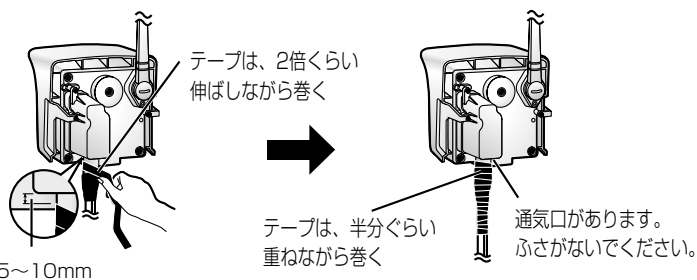
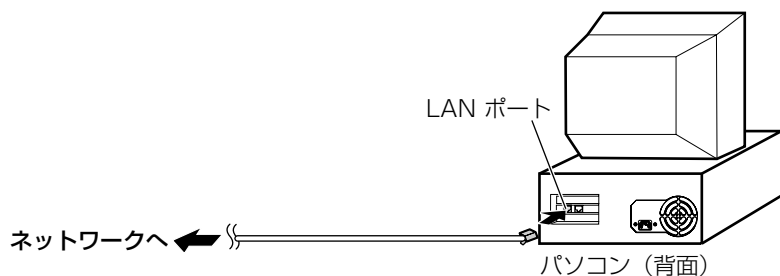
設置する

4 防水処理を行う

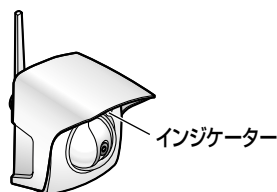
① パテ (付属品) 4枚の内3枚をケーブル類に巻き付け、コネクターカバーの中に押し込む

- パテ (3枚) は同じ所に巻き付けてください。

屋外で使用する場合、パテを必ず使用してください。パテを使用しない場合、雨などが隙間から内部へ浸透し、本体が破壊されることがあります。

② 残りのパテ1枚をコネクターカバーとケーブル類に巻き付け、パテ部を押して形をととのえる

•コネクターカバーとケーブル類にパテを巻き付け形をととのえる

③ 自己融着テープ (付属品) を巻く

- 自己融着テープは、ケーブル類をスタンドに固定するときにも使いますので少し (約200mm) 残してください。（天井または壁に取り付けるときのみ）

5 Ethernetケーブルをパソコンに接続する

● インジケーターが緑に点灯していることを確認してください。

⚠ 警 告

■ **専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない**

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

禁　止

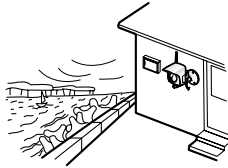
■ **壁や天井に設置時は、ACアダプターを差し込んだあと、落下しないように対策を行う**

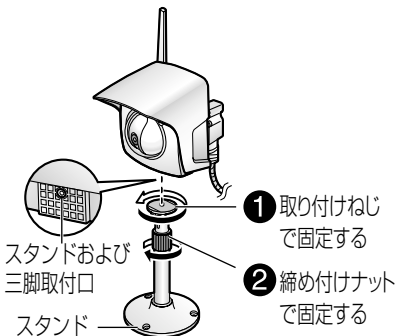
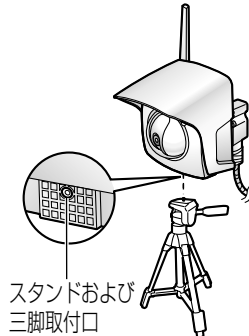
ACアダプターが落下し、頭などにあたると、けがまたは死亡する原因になります。

●工事は、電気工事士の方が行ってください。

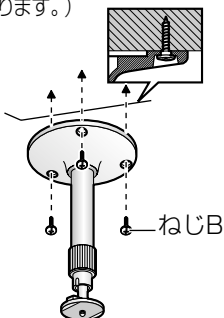
設置のしかた

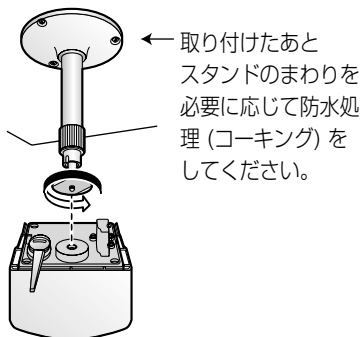
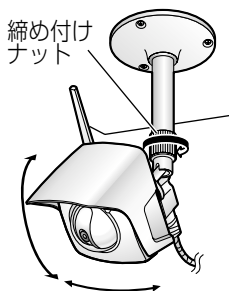
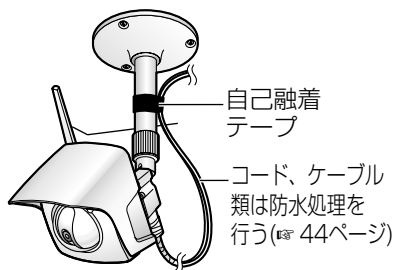
■ 設置上のご注意

本機は、軒下など直射日光の当たりにくい場所に設置してください。
海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境への設置は避けてください。（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。） （悪い例）
屋外設置時は、本機近くに屋外用の電源ボックスを設置して付属のACアダプターをその中に入れて、使用してください。 （ACアダプターの使用可能範囲は−20℃～50℃です。） ※電源ボックス設置については、配線工事業者へご相談ください。
屋外設置時は、電源コード、Ethernetケーブルなどは、コンジットパイプまたは、電線管などを使用し、防水処理を行ってください。
土中配線、空中配線はしないでください。 （本機および本機を接続するハブなどに雷などの影響を受けることがあります。）

スタンドに取り付けるとき

● **スタンドへ取り付けの際は、本体が倒れないように締め付けナットでしっかり固定してください。**

三脚に取り付けるとき

天井に取り付けるとき

❶ 天井にねじB（付属品または設置場所によって現場調達）でスタンドを取り付ける

● 木材などの梁がある所に確実に取り付けてください。（ネットワークカメラが落ちて破損することがあります。）

● 天井の材質にあわせて、ねじなどを準備してください。

❷ ネットワークカメラをスタンドに確実に取り付ける

❸ ネットワークカメラの角度を調整し、スタンドの締め付けナットで確実に固定する

❹ ケーブルをたるませて、付属の自己融着テープでスタンドに固定する

● **ネットワークカメラを天井に取り付けるときは、ネットワークカメラの上下を間違えないでください。逆さまに取り付けると画像が逆になります。**

● **スタンドにぶらさがったり、ネットワークカメラ以外のものを固定しないでください。**

● **アンテナが天井に当たって無理な力が加わらないよう、カメラとアンテナの角度を調整してください。**

設置する

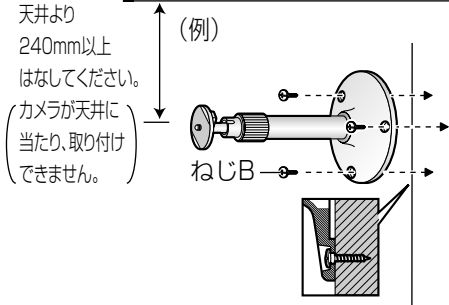
設置のしかた

壁に取り付けるとき

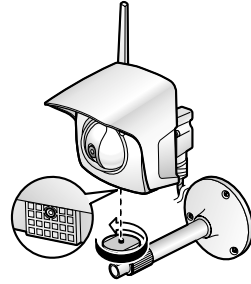
❶ 壁にねじB（付属品または設置場所によって現場調達）でスタンドを取り付ける

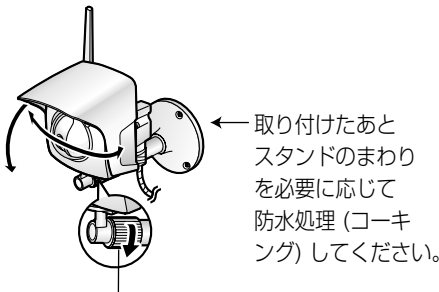
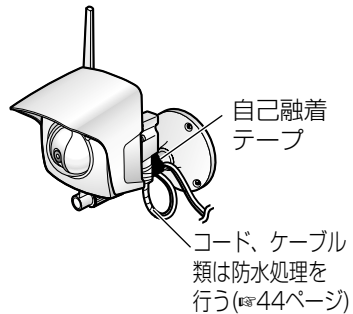
天井より240mm以上はなしてください。
（カメラが天井に当たり、取り付けできません。）

（例）

ねじB

● 木材などの梁がある所に確実に取り付けてください。
（ネットワークカメラが落ちて破損することがあります。）

● 壁の材質にあわせて、ねじなどを準備してください。

❷ ネットワークカメラとスタンドを確実に取り付ける

● 背面に取り付けることもできます。

❸ ネットワークカメラの角度を調整し、スタンドの締め付けナットで確実に固定する

❹ ケーブルをたるませて、付属の自己融着テープでスタンドに固定する

● **インジケーターのある方を必ず上側にして取り付けてください。**
逆さまに取り付けると、画像が逆になります。

● **スタンドにぶらさがったり、ネットワークカメラ以外のものを固定しないでください。**

● **アンテナが天井に当たって無理な力が加わらないよう、カメラとアンテナの角度を調整してください。**

■ 天井または壁への取り付け例

（例）材質がモルタルの場合

1 取り付け位置にスタンドを合わせ、しるしをつける

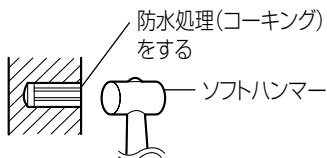
2 しるしにあわせ、穴をあけPYプラグを差し込む

❶ 穴をあける

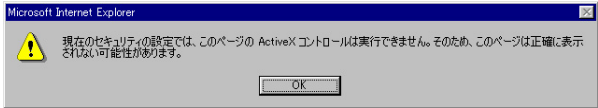
❷ PYプラグを差し込む
（ソフトハンマーで軽くたたく）

防水処理（コーキング）をする

ソフトハンマー

コンクリート用ドリル
タイルの場合はタイル用ドリル

- **モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので注意して穴あけをしてください。**

3 スタンドを取り付け、カメラを設置する（☞ 47～48ページ）

故障かなと思ったとき

パナソニックのサポートウェブサイトhttp://panasonic.biz/netsys/netwkcam/ には、本書掲載内容以外にも、様々な最新の技術情報などを掲載しておりますので、トラブル発生時にご参照ください。

■ネットワークカメラの設定について

症　状	原因と対策
セットアップCD-ROMのネットワークカメラリストに、ご使用のネットワークカメラのIPアドレスが表示されない。	● ネットワークカメラの電源を投入後、20分以上経過している。 →ネットワークカメラの電源を立ち上げ直してください。 ● ルーターを経由して接続している。 →ルーターを経由しない環境で設定を行ってください。 ● パソコンのIPアドレスが設定されているか確認する（☞ 22ページ） →パソコンのIPアドレスが設定されていないときは設定してください。（☞応用編「パソコンのIPアドレスを設定する」） ● パソコンで動作しているウィルスチェックソフトウェアのファイアウォール機能が有効になっている。 →ネットワークカメラの設定時のみ、ファイアウォール機能またはウィルスチェックソフトウェアを一時的に停止してください。 ● ネットワークカメラが無線モードになっている。 →Ethernetケーブルを接続したあとに電源を入れることで、有線モードに切り替えてください。
セットアップCD-ROMでネットワーク設定が完了しなかった。	● 設定中に何らかの問題がネットワークに発生している。 →ネットワーク環境を確認し、ネットワークカメラの電源を立ち上げ直して、再度ネットワーク設定をしてください。 ● ネットワークカメラの電源を投入後、20分以上経過している。 →ネットワークカメラの電源を立ち上げ直し、20分以内に設定を完了してください。
メニュー画面が表示されない。	● ネットワークカメラのIPアドレスを変更している。 →ウェブブラウザのアドレス枠に新しいIPアドレスを入力してください。 ● パソコンとネットワークカメラのクラスが異なっている。 →ローカルネットワークで使用する場合は、パソコンとネットワークカメラが同じクラスに設定されていることが必要です。同じクラスになるように設定してください。（☞ 22ページ） ● ネットワークが混んでいる。 →画面がすぐに表示されない場合もあります。少しお待ちください。

症　状	原因と対策
メニュー画面が表示されない。	● ネットワークカメラにアクセスするウェブブラウザの設定が、プロキシを経由している。 →プロキシを経由しないように設定してください。 （☞ 応用編「パソコンをセットアップする」） ● みえますねっとを利用時に、ネットワークの設定においてデフォルトゲートウェイ、DNSが設定されていない、または、正しく設定されていない。 →正しく設定してください。（☞ 応用編「ネットワークの設定」）
LANからは、メニュー画面が表示されるが、インターネットからでは、表示されない。	● ネットワークの設定において、デフォルトゲートウェイが設定されていない、または、正しく設定されていない。 →正しく設定してください。（☞ 応用編「ネットワークの設定」） ● ルーターにポートフォワーディング機能が設定されていない。 →ポートフォワーディング機能を設定してください。 詳しくは、ルーターの取扱説明書を参照してください。 ● ルーターにインターネット（WAN側）からのアクセスを禁止するIPフィルターなどを設定している。 →ルーターにインターネットからアクセスできるように設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書を参照してください。 ● プライベートIPアドレスでアクセスしている。 →ルーターのグローバルIPアドレス、ポート番号でアクセスしてください。 ● 企業内などプロキシサーバー配下からインターネット経由でアクセスしている。 →プロキシサーバーの設定によっては、ポート番号の制限などにより見えないことがあります。ネットワーク管理者にご相談ください。

つづく

故障かなと思ったとき

症　状	原因と対策
カメラ画像が表示されない。	●Internet Explorer を使用していて、パソコンに ActiveX コントロールがインストールされていない。 →動画像を表示するために ActiveX コントロールをダウンロードする必要があります。 1.「シングル画面」あるいは「マルチ画面」（動画像の場合）をクリックしたあとに、しばらくすると、次の画面が表示されます。 **はい(Y)** をクリックしてダウンロードしてください。 セキュリティの設定内容によっては、次の画面を表示する場合があります。 そのときは、次の手順に従いInternet Explorerのセキュリティレベルの設定を変更して再度アクセスしてください。 ① Internet Explorerの「ツール(T)」→「インターネットオプション(O)」→「セキュリティ」をクリックする ②「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」内の **レベルのカスタマイズ(C)...** をクリックする ③「設定(S)」内の "ActiveXコントロールとプラグインの実行" を "有効にする" に変更する、また"署名済み ActiveXコントロールのダウンロード" を "ダイアログを表示する" に変更する

症　状	原因と対策
カメラ画像が表示されない。	2. 手順1を行っても画像が表示されないときはActiveXコントロールのダウンロードに失敗しています。 →ActiveXコントロールのダウンロードに失敗した場合は、次の方法でActiveXコントロールをインストールしてください。 1) セットアップCD-ROMの中の ocx フォルダ内の "ActiveX Inst.exe"をダブルクリックする。 2) "ActiveXコントロール登録" ボタンをクリックする。("成功しました" のダイアログボックスが表示されるまで、しばらくお待ちください。) これでActiveXコントロールのインストールは完了です。 ● ネットワークが混んでいる。 →画面がすぐに表示されない場合もあります。少しお待ちください。 ● ネットワークカメラにアクセスするウェブブラウザの設定が、プロキシを経由している。 →プロキシを経由しないように設定してください。(☞ 応用編「パソコンをセットアップする」)
ネットワークカメラの電源を入れたあと、インジケーターがオレンジの点灯になる。	● Ethernetケーブルが正しく接続されていない。 →Ethernetケーブルを正しく接続してください。 ● ハブ、ルーターが正しく動作していない。
インジケーターが赤に点滅し続ける。	● ネットワークカメラが故障している。 →お買い上げの販売店へ連絡してください。
インジケーターが緑に点滅し続ける。	● DHCPサーバーからIPアドレスが取得できない。 →"DHCPを指定する"に設定した場合に、何らかのネットワーク障害でDHCPサーバーからIPアドレスが取得できないことが考えられます。 ネットワーク管理者、またはプロバイダーに確認してください。
インジケーターがオレンジに点滅し続ける。	● バージョンアップが正常に完了せずに電源を立ち上げ直した。 →ブラウザからネットワークカメラにアクセスすると、バージョンアップ画面が表示されます。手順に従ってバージョンアップを実施してください。(☞ 応用編「ファームウェアのバージョンアップを行う」)

故障かなと思ったとき

症　状	原因と対策
無線LANでの通信時にインジケーターが緑に点灯しない。	● 電波が弱い。 （「接続状態表示」画面を確認 ☞ 37ページ〜38ページ） →ネットワークカメラの設置場所を変えたり、障害物を除いて見通しを良くしてから再度通信してください。 ● ルーター、またはパソコンの無線設定（SSID、暗号化 (WEP) 設定）と異なる設定をしている。 →ネットワークカメラのSSID、暗号化 (WEP) 設定をルーターまたはパソコンの設定と同じにしてください。
有線LANでの通信時にインジケーターが緑に点灯しない。	● 電源を入れたあとで、イーサネットケーブルを接続した。 →ネットワークカメラがイーサネットケーブルによってルーターまたはパソコンに接続されていることを確認してから、ネットワークカメラのACアダプターをコンセントから抜いて、もう一度入れてください。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このネットワークカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

50～54ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ネットワークカメラ
品　番	KX-HCM170
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- **停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。**

本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

保証とアフターサービス

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」にお問い合わせください。

ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電 話 **03-3491-9797** （通話料金有料）
FAX **03-3491-9016** （通話料金有料）
営業時間 9：00 ～ 17：30（土・日・祝日除く）

■ パナソニックのサポートウェブサイト
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/)

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

■ 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■ ネットワークカメラのMACアドレスと製造番号を本機背面のラベルを見て必ず記入してください。
(アフターサービス時に必要となります。)

MACアドレス	
製造番号	

愛情点検　**長年ご使用のネットワークカメラの点検を!**

こんな症状はありませんか?

- ACアダプターの電源コードが傷んでいる。
- こげくさい臭いや異常な音がする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず**販売店に点検を**依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	KX-HCM170
販売店名	☎（　　）　―		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―		

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ブロードバンド＆ソリューション事業センター
〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PSQX3068ZA　KK0803RM0